

令和7年度大学院入学試験 筆記試験代替問題 (前期募集)

教育実践高度化専攻 学校教育実践研究コース (学校経営・学校心理領域)

- 1 筆記試験に代えて評価する項目をあらかじめ設定し、口述試験の中で試問するものです。なお、以下のとおり試問を行いました。

以下の3問から1問を選び、10分以内で解答を考えなさい（その際、適宜メモ用紙を使用して良い）。その後口頭で解答を求めます。

問題1

「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（通称「教育機会確保法」2017年施行）が成立した背景について説明しなさい。また、この法律の基本理念を踏まえ、学校は、どのようなことを改善・充実すればよいか、あなたの考えを述べなさい。（教育学）

問題2

文化資本の具体的な意味内容について、家庭環境と教育達成との関わりをもとに説明しなさい。（教育学）

問題3

協同学習の一手法であるジグソー学習法とは何か。①実施法、②期待される効果、③留意すべき点について、詳しく説明しなさい。（心理学）

- 2 学生募集要項「7 入試方法」では、筆記試験に代えて評価する項目に関して、以下のように記載しています。

筆記試験に代えて、教育学又は心理学の基礎的な知識及びコースにかかわる専門分野についての研究内容についても試問する。

※ 試験当日は、上記の内容について試問を行いました。